

耳鼻咽喉科

otorhinolaryngology

ユニット責任者：耳鼻咽喉科学 教授 肥塚 泉

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	耳鼻咽喉科①	10月1日～10月4日	谷口 雄一郎
第2ブロック	耳鼻咽喉科②	12月10日～12月13日	宮本 康裕

1. ユニット概要・学習内容

耳鼻咽喉科における各感覚機能(聴覚・平衡覚・味覚および嗅覚)の基本を理解する。

同領域の各感覚器の仕組み、機能、構造、検査方法を理解する。

上記感覚諸機能の生理学的な基本を理解する。

耳鼻咽喉科領域が扱う頭頸部の構造および嚥下と発声について学ぶ。

耳鼻咽喉科の画像診断法を学び、その有用性を認識する。

耳・鼻・口腔・咽頭・喉頭・頭頸部の疾患について理解する。

2. 到達目標

- 1) 聴覚の生理学的な基本である内耳や中耳の構造と電気現象、聴覚経路について理解し、説明できる。また、その検査についても説明できる。
- 2) 平衡覚の生理学的な基本(受容器、中枢経路)を理解し、説明できる。また、その検査についても説明できる。
- 3) 味覚・嗅覚の生理学的な基本である口腔および鼻・副鼻腔の構造とそれぞれの受容器、中枢経路を理解し、説明できる。また、その検査についても説明できる。
- 4) 嚥下に関連する構造と運動について理解し、説明できる。嚥下の評価について説明できる。
- 5) 発声に関連する構造と機能について理解し、説明できる。
- 6) 耳鼻咽喉科の画像診断法を理解できる。
- 7) 耳・鼻・口腔・咽頭・喉頭・頭頸部の疾患について理解し、説明できる。

3. 学習上の注意点

毎授業後に復習として、教科書・参考書の該当部分を読むこと。

シラバス、講義実習プリント、参考図書の該当項目を予習する。疑問点を把握し、講義中は講義の理解と予習時の疑問点の拐解決に努める。講義後すぐに授業内容について復習し、必要なら質疑応答を行い知識の定着を図ることが重要である。

4. 教科書・参考書

「新耳鼻咽喉科学」改訂第11版（南山堂）

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	90	(%)	
授業態度	10	(%)	

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
耳鼻咽喉科	准教授	谷口 雄一郎	月曜日 11:00~12:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	講師	宮本 康裕	火曜日 11:00~12:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	講師	春日井 滋	月曜日 13:00~14:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	助教	深澤 雅彦	月曜日 13:00~14:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	助教	三上 公志	火曜日 13:00~14:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	助教	齋藤 善光	月曜日 13:00~14:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)
耳鼻咽喉科	助教	藤田 聡子	火曜日 11:00~12:00	医学部本館2階 耳鼻咽喉科医局	3261(内)